

第 3 次二宮町環境基本計画前期実施計画
進捗管理シート

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	1-1-1-1-③
担当課	都市整備課
基本目標	多様で誇れる自然がいつまでもそばにある「にのみや」の実現
取組目標	みんなが大好きな自然を守り、育てよう
取組項目	歴史に息づく緑の保全と創造

取組の名称（町の取組）	吾妻山をはじめとする公園等の維持管理と運営を推進		
取組の内容	自然環境の保全と観光拠点としての調和を図るため、自然環境の保全・活用を念頭に置いた公園管理を行います。また、案内板やネームプレート等を活用することのほか、誰もが気持ちよく利用できる施設や設備の充実を図ります。		
連携・協力先	町シルバー人材センター、町観光協会、公園愛護会	事業の性質	推進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	吾妻山、せせらぎ公園における、花情報等の投稿数	30	回	基準値である令和3年度の投稿回数は11回であったが、より多くの方に吾妻山やせせらぎ公園の魅力を発信していく意向のため、投稿回数を毎年30回以上行うことを目標とする。
②	花情報等のサイトページの閲覧者数（累計）	33,000	人	令和3年度の閲覧者数は18,870人で、令和2年度から1,832人増加していたことから、閲覧者数を毎年2,000人ずつ増加させていくことを目標とする。
③	—	—	—	
評価タイプ		中間型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	30	30	30	30	30
	②	—	23,000	25,000	27,000	29,000	33,000
	③	—					
実績値	①	11					
	②	18,870					
	③	—					

令和5年度

事業計画（予定）	・自然環境を考慮した維持管理を行い、景観に配慮した案内板等を設置して動植物の保全に努め、二宮町の観光の代名詞である吾妻山公園などの花情報をホームページで適宜、開花状況等を随時更新する。				
事業実績					
評価	E	0%	達成状況評価		0%
			事業内容評価		0%
	数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
	事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
	Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
	Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
	Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
課題					
対応					
環境審議会意見					
町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	1-1-2-1-③
担当課	生活環境課
基本目標	多様で誇れる自然がいつまでもそばにある「にのみや」の実現
取組目標	みんなが大好きな自然を守り、育てよう
取組項目	潤いを感じる水辺の保全と創造

取組の名称（町の取組）	葛川の美化を推進		
取組の内容	公共下水道の維持・管理や接続勧奨に努めるとともに、浄化槽の適切な管理を促すなど、葛川の水質向上に努めます。また、葛川にごみを捨てにくい環境づくりを目指すため、ボランティア団体や県等と連携し、ごみの回収や水生生物の生息状況を調査するとともに、清掃を行っている団体の活動紹介や葛川の魅力を発信していきます。		
連携・協力先	ボランティア団体、県	事業の性質	推進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	葛川をきれいにするためのイベント実施回数	3	回	令和3年度の生き物観察や力又一体験開催数を基準として、今後も継続して同じ回数以上の啓発を行うことを目標とする。
②	葛川をきれいにするためのイベントへの申込み者のうち、新規参加者の割合	80	%	令和3年度の生き物観察と力又一体験の新規申込者79.7%を基準として、今後は新規申込者の割合を80%以上とすることを目標とする。
③	—	—	—	
評価タイプ		中間型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	3	3	3	3	3
	②	—	80	80	80	80	80
	③	—					
実績値	①	3					
	②	79.7					
	③	—					

令和5年度

事業計画（予定）	・葛川をきれいにする会の清掃活動を支援するため、河川ごみの回収を行う。 ・葛川をきれいにする会の活動について、広報紙やホームページで広く啓発を実施するとともに、環境団体と連携して、葛川に親しめるイベントを開催する。				
事業実績					
評価	E	0%	達成状況評価		0%
			事業内容評価		0%
	数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
	事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
	Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
	Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
	Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
課題					
対応					
環境審議会意見					
町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	1-2-1-1-③
担当課	生活環境課 都市整備課 産業振興課
基本目標	多様で誇れる自然がいつまでもそばにある「にのみや」の実現
取組目標	自然に生息する生きものを大切にしよう
取組項目	健全な生物多様性の保全

取組の名称（町の取組）	生物多様性の保全を推進		
取組の内容	動植物との共生について理解を深めるための啓発を推進するとともに、特定外来生物の防除対策などを行い、生態系の保全に努めます。		
連携・協力先	環境活動団体	事業の性質	推進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	動植物の保全に対するイベント実施回数	7	回	令和3年度のホタルの観賞会、田植え体験、稲刈り体験、しいたけ植菌教室、生き物観察、エコフェスタにのみやの開催数を基準として、今後も継続して同じ回数以上の実施を目標とする。
②	ホタルの観賞会の来園者数	3,300	人	コロナの影響を受けた令和2年度、3年度を除いた、平成29年度、平成30年度、令和元年度の来園者数の平均から、毎年3,300人以上を目標とする。
③	—	—	—	
評価タイプ		中間型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	7	7	7	7	7
	②	—	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
	③	—					
実績値	①	7					
	②	—					
	③	—					

令和5年度

事業計画（予定）	・田植え体験学習、稲刈りの体験学習、椎茸植菌教室の開催及び関連団体との情報交換等により里山保全の意識を高めるとともに生態系の保全に努める。 ・二宮せせらぎ公園内の生態系の保全のため、生物の住環境を阻害しない公園の維持管理に努める。二宮せせらぎ公園でホタル観賞会を5月下旬から6月上旬の時期に7日間実施する。 ・葛川に親しもう会を通じて、動植物の保全に関心を持ってもらう。				
事業実績					
評価	E	0%	達成状況評価		0%
			事業内容評価		0%
	数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
	事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
	Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
	Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
	Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
課題					
対応					
環境審議会意見					
町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	2-3-1-4-③
担当課	生活環境課
基本目標	まちがきらきらと美しい「にのみや」の実現
取組目標	きれいで清潔なまちをつくろう
取組項目	環境美化の推進

取組の名称（町の取組）	地域美化活動を推進		
取組の内容	個人やグループを問わず、地域内の美化活動をボランティアで行う方々に対し、ごみ袋の支給などといった支援を行っていくことで、地域美化活動の推進を図ります。		
連携・協力先	町民、地域環境推進員	事業の性質	推進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	地域美化清掃の人数	5,200	人	コロナの影響を受けた令和2年度を除いた、平成30年度、令和元年度、令和3年度の参加人数の平均から、毎年5,200人以上を目標とする。
②	地域美化清掃の新規申込み者の割合	50	%	令和3年度新規申込み者の割合は、団体、個人の両方を含め約41%となっているため、今後は継続して新規の割合を50%以上とすることを目標とする。
③	—	—	—	
評価タイプ		中間型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200
	②	—	50	50	50	50	50
	③	—					
実績値	①	4,385					
	②	41					
	③	—					

令和5年度

事業計画（予定）	・個人や団体で実施される地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きの支援を行う。				
事業実績					
評価	E	0%	達成状況評価		0%
			事業内容評価		0%
	数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
	事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
	Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
	Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
	Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
課題					
対応					
環境審議会意見					
町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	3-1-1-1-②
担当課	生活環境課
基本目標	目指せ脱炭素！地球のためにみんなが行動する「にのみや」の実現
取組目標	地球のことを考えて身近なことから行動しよう
取組項目	CO2削減に向けた取組の推進

取組の名称（町の取組）	町民の地球温暖化防止行動を促進		
取組の内容	環境活動団体等との連携・協力によるイベントやさまざまな広報媒体を通して、地球温暖化対策に資する行動を促進するため、意識向上を目的とした啓発を行います。		
連携・協力先	環境活動団体、事業者	事業の性質	促進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	情報提供回数	55	回	令和3年度を基準として、今後は55回以上継続的に啓発を行うことを目標とする。
②	情報提供ツールの種類	10	種	令和3年度を基準として、広報紙、HP、Facebook、役場内インフォメーション、ポスター、チラシ、イベント、メール、会議、防災無線の10種類を継続していくことを目標とする。
③	地球温暖化関連サイトページの閲覧者数	19,000	人	令和3年度を基準として、毎年閲覧者数を1,000人ずつ増加させていくことを目標とする。
評価タイプ		中間型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	55	55	55	55	55
	②	—	10	10	10	10	10
	③	—	15,000	16,000	17,000	18,000	19,000
実績値	①	51					
	②	10					
	③	12,630					

令和5年度	事業計画（予定）	・気候非常事態宣言の発出に伴い、地球温暖化などの環境問題についてさまざまな媒体を活用し積極的な情報提供を行う。				
	事業実績					
	評価	E	0%	達成状況評価		0%
				事業内容評価		0%
		数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
		事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
		Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
		Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
		Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
	課題					
	対応					
	環境審議会意見					
	町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	3-1-1-2-②
担当課	生活環境課 教育総務課 子育て・健康課
基本目標	目指せ脱炭素！地球のためにみんなが行動する「にのみや」の実現
取組目標	地球のことを考えて身近なことから行動しよう
取組項目	CO2削減に向けた取組の推進

取組の名称（町の取組）	子どもたちの地球温暖化防止行動を促進		
取組の内容	幼少期からの環境意識や行動の定着を図るため、町内の保育園等や小中学校における資料配布、出前授業等の実施、また、さまざまなイベントや広報媒体を通してCO ₂ 削減に関する啓発を行います。		
連携・協力先	地球温暖化防止活動推進員、学校	事業の性質	促進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	中学生以下の子どもが参加できる環境イベントの実施回数	7	回	令和3年度の幼稚園、保育園、中学校の出前授業と未来づくり教室、エコフェスタにのみや、ふるさとまつり、ワールド・カフェの開催数を基準として、今後も継続して同じ回数以上の啓発を行うことを目標とする。
②	町内の小中学校で実施しているマイエコ10宣言で、児童・生徒が丸を付けた数の平均	11	個	令和3年度を基準として、毎年0.2ずつ平均を上げていくことを目標とする。
③	—	—	—	
評価タイプ		中間型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	7	7	7	7	7
	②	—	10.2	10.4	10.6	10.8	11.0
	③	—					
実績値	①	7					
	②	10.0					
	③	—					

令和5年度

事業計画（予定）	・保育園長会議等を通じて、環境イベントの周知を行う。 ・SDGsを推進するための啓発資料を小学校（4年生）に配布予定。 ・冬休みの宿題として、小中学校にマイエコ10宣言を配布する。 ・環境に興味・関心をを持ってもらえるような授業を実践していく。				
事業実績					
評価	E	0%	達成状況評価		0%
			事業内容評価		0%
	数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
	事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
	Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
	Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとっているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
	Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
課題					
対応					
環境審議会意見					
町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	3-1-2-2-②
担当課	防災安全課
基本目標	目指せ脱炭素！地球のためにみんなが行動する「にのみや」の実現
取組目標	地球のことを考えて身近なことから行動しよう
取組項目	気象危機に備えた災害対策等の推進

取組の名称（町の取組）	ハザードマップ・防災情報アプリ等の活用を促進		
取組の内容	災害時に正確かつ迅速に情報共有することを目的として、二宮町ハザードマップの活用や、二宮町防災情報アプリ「ハザードン」等の普及を促進します。		
連携・協力先	女性防災隊、消防	事業の性質	促進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	イベント等でのハザードンの普及PRの実施回数	20	回	PR開始年度が基準となっているため、基準値の啓発回数が多くなっているが、今後は、主に自主防災訓練や防災指導員研修会等でPRを実施するため、目標回数を毎年20回以上を目標とする。
②	ハザードンの普及数	1,900	件	ハザードンの普及数は938件となっていることから、初年度を1.5倍の1,500件とし、その後は100件ずつ増加させていくことを目標とする。
③	—	—	—	
評価タイプ		中間型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	20	20	20	20	20
	②	—	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900
	③	—					
実績値	①	30					
	②	938					
	③	—					

令和5年度

事業計画（予定）	・各地区での自主防災訓練や総合防災訓練などの行事にて啓発を行う。 ・広報誌へアプリの紹介を掲載し、知名度を向上させる。				
事業実績					
評価	E	0%	達成状況評価		0%
			事業内容評価		0%
	数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
	事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
	Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
	Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
	Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
課題					
対応					
環境審議会意見					
町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	3-1-2-3-②
担当課	子育て・健康課 生活環境課 消防課
基本目標	目指せ脱炭素！地球のためにみんなが行動する「にのみや」の実現
取組目標	地球のことを考えて身近なことから行動しよう
取組項目	気象危機に備えた災害対策等の推進

取組の名称（町の取組）	熱中症対策の推進		
取組の内容	クールビズやクールシェアの周知を図るとともに、町内で気軽に給水できるスポットを創出します。また、防災無線の活用や広報紙、ホームページ等により、熱中症予防に関する情報提供を行います。		
連携・協力先	県	事業の性質	推進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	熱中症対策に資する情報提供回数	32	回	令和3年度を基準として、啓発回数を毎年2回ずつ増やしていくことを目標とする。
②	熱中症対策に資する情報提供ツールの種類	6	種	令和3年度の広報紙、HP、メール、防災無線の4種類に役場内インフォメーション、ポスターの2種類を追加した6種類を毎年の目標とする。
③	熱中症での救急搬送者数	9	人	令和3年度を基準として、熱中症での救急搬送者数を9人以下にとどめることを目標とする。
評価タイプ		中間型		

		令和4年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	24	26	28	30	32
	②	—	6	6	6	6	6
	③	—	9	9	9	9	9
実績値	①	22					
	②	4					
	③	9					

令和5年度

事業計画（予定）	・防災無線（熱中症警戒アラートが発表の際）の活用や広報紙、ホームページ等により、熱中症予防に関する情報提供を行います。 ・熱中症や熱中症疑いなど、救急需要に対しての救急出動体制の確保に努め、県や町、子育て・健康課と連携を図り、熱中症の救急搬送者の軽減を図る。 ・ウォータースタンドの周知に加え、熱中症予防についての啓発を行う。				
事業実績					
評価	E	0%	達成状況評価		0%
			事業内容評価		0%
	数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
	事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
	Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
	Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
	Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
課題					
対応					
環境審議会意見					
町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	3-2-1-1-②
担当課	生活環境課
基本目標	目指せ脱炭素！地球のためにみんなが行動する「にのみや」の実現
取組目標	「つくる責任・つかう責任」を意識して、もったいないをなくしていこう
取組項目	3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進

取組の名称（町の取組）	循環型社会の形成を目指した3R・3Sの推進		
取組の内容	ごみの排出や環境への負荷が少ない循環型社会を目指して、発生抑制（リデュース:Reduce）、再利用（リユース:Reuse）、再生利用（リサイクル:Recycle）の3Rに基づくごみ処理・リサイクル事業をより一層推進します。また、この3Rに加えて、廃棄物の発生抑制によって循環量を少なくするスモール（Small）な循環、できるだけ地域内循環を行って循環に伴う移動距離を短くするショート（Short）な循環、ものを大事に使いライフサイクルを長くするスロー（Slow）な循環の3Sを推進します。		
連携・協力先	町民、事業者	事業の性質	促進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	ごみ減量PRの実施回数	45	回	令和3年度のごみ減量PRの実施回数は41回であったため、今後は継続して45回以上啓発を行うことを目標とする。
②	総排出量当たりの排出原単位	799	g/人・日	「一般廃棄物処理基本計画」における減量化の目標を目標値とする。
③	—	—	—	
評価タイプ		数値重視型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	45	45	45	45	45
	②	—	807	803	798	798	799
	③	—					
実績値	①	41					
	②	816					
	③	—					

令和5年度

事業計画（予定）	・広報紙やホームページなどで啓発を行う。 ・環境出前授業で、身近な事例を取り入れながらごみの減量についての授業を行う。				
事業実績					
評価	E	0%	達成状況評価		0%
			事業内容評価		0%
	数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	75%
	事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	25%
	Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
	Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
	Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
課題					
対応					
環境審議会意見					
町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	3-3-1-1-②
担当課	財務課 施設再編課
基本目標	目指せ脱炭素！地球のためにみんなが行動する「にのみや」の実現
取組目標	環境に配慮したまちづくりを進めよう
取組項目	公共施設等の脱炭素化の推進

取組の名称（町の取組）	公共施設における省エネ設備、再生可能エネルギーの導入		
取組の内容	公共施設は町民に対しての啓発拠点ともなるため、改修時などには、LED照明などの省エネ設備の導入を推進するとともに、老朽化した施設の更新や新設にあたっては、建物自体を環境配慮型にすることを基本とし、省エネ設備や再生可能エネルギーの導入を原則としていきます。また、町民や事業者へ省エネ施設、再生可能エネルギーの導入支援制度等の情報提供に努めます。		
連携・協力先	—	事業の性質	推進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	省エネ型施設、再生可能エネルギーを導入する施設数（累計）	13	施設	担当課と整合性を図り、目標設定した。
②	二宮町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく、二酸化炭素の排出量	1,472	t-CO ₂	「二宮町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づく、二酸化炭素の排出量を目標とする。
③	—	—	—	
評価タイプ		数値重視型		

		令和3年度 （参考値）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	6	8	10	12	13
	②	—	1,724	1,661	1,598	1,535	1,472
	③	—					
実績値	①	2					
	②	1,850					
	③	—					

令和5年度	事業計画（予定）	・百合が丘老人憩の家（新館）改築工事を実施し、LED照明を設置する。 ・下町老人憩の家耐震改修工事を実施し、既存照明をLED化する。				
	事業実績					
	評価	E	0%	達成状況評価		0%
				事業内容評価		0%
		数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	75%
		事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	25%
		Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
		Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
		Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
	課題					
	対応					
	環境審議会意見					
	町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	4-1-1-2-①
担当課	生活環境課 教育総務課 子育て・健康課
基本目標	あらゆる世代による環境づくりの輪が広がる「にのみや」の実現
取組目標	より良い環境について考え、取り組む人を育てよう
取組項目	環境教育・学習の推進

取組の名称（町の取組）	世界規模、地球規模での環境問題にかかわる教育・学習の推進		
取組の内容	保育園等や小中学校、あるいは生涯学習などの場において、子どもを対象とした地球温暖化防止や廃棄物の減量化等といった環境づくりに資する教育・学習を推進します。		
連携・協力先	地球温暖化防止活動推進員、学校	事業の性質	推進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	環境に係る出前教室開催数	4	回	令和3年度の幼稚園、保育園、中学校の出前授業と未来づくり教室の開催数を基準として、今後も継続して同じ回数以上の啓発を行うことを目標とする。
②	未来づくり教室申込み者のうち、新規参加者の割合	75	%	令和4年度の新規申込者69.2%を基準として、今後は新規申込者の割合を75%以上とすることを目標とする。※令和3年度から未来づくり教室を開始したため、令和4年度の実績を基準
③	—	—	—	
評価タイプ		中間型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	4	4	4	4	4
	②	—	75	75	75	75	75
	③	—					
実績値	①	4					
	②	69.2					
	③	—					

令和5年度

事業計画（予定）	・町内の保育園、幼稚園、小学校、中学校を対象に環境出前授業を行う。 ・保育所等における「未来づくり教室」の実施に向けた積極的な周知を行う。				
事業実績					
評価	E	0%	達成状況評価		0%
			事業内容評価		0%
	数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
	事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
	Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
	Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
	Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
課題					
対応					
環境審議会意見					
町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	4-1-2-1-①
担当課	生活環境課
基本目標	あらゆる世代による環境づくりの輪が広がる「にのみや」の実現
取組目標	より良い環境について考え、取り組む人を育てよう
取組項目	環境保全のための意識啓発活動の推進

取組の名称（町の取組）	環境に関する情報提供の推進		
取組の内容	ホームページ等の広報媒体やイベントなどを通して環境に関わる情報提供を推進します。また、将来を見据え、デジタル化を意識した情報提供の方法を随時検討します。		
連携・協力先	—	事業の性質	推進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	情報提供回数	100	回	令和3年度を基準として、毎年100回以上継続的に啓発を行うことを目標とする。
②	情報提供ツールの種類	10	種	令和3年度を基準として、数を維持していくことを目標とする。
③	環境情報関連サイトページの閲覧者数（累計）	78,000	人	令和3年度を基準として、毎年閲覧者数を5,000人増加させていくことを目標とする。
評価タイプ		中間型		

		令和3年度 （参考値）	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	100	100	100	100	100
	②	—	10	10	10	10	10
	③	—	58,000	63,000	68,000	73,000	78,000
実績値	①	98					
	②	10					
	③	48,567					

令和5年度	事業計画（予定）	・気候非常事態宣言発出の発出に伴い、気候変動対策などについてさまざまな媒体を活用し、積極的な情報提供を行う。				
	事業実績					
	評価	E	0%	達成状況評価		0%
				事業内容評価		0%
		数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
		事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
		Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
		Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
		Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
	課題					
	対応					
	環境審議会意見					
	町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	4-1-2-2-①
担当課	生活環境課 産業振興課
基本目標	あらゆる世代による環境づくりの輪が広がる「にのみや」の実現
取組目標	より良い環境について考え、取り組む人を育てよう
取組項目	環境保全のための意識啓発活動の推進

取組の名称（町の取組）	体験しながら環境について学ぶ機会の創出		
取組の内容	農業体験、生き物観察、未来づくり教室や環境ツアー等、子どもから大人まで誰もが環境について体験しながら学べる機会を作っていきます。		
連携・協力先	環境活動団体、学校	事業の性質	推進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	環境保全活動体験型イベント等の実施回数	8	回	令和3年度の田植え体験、稲刈り体験、しいたけ植菌教室、生き物観察、カヌー体験、未来づくり教室、530キャンペーンの開催数を基準として、今後も継続して同じ回数以上の啓発を行うことを目標とする。
②	生活環境課主催の環境保全体験型イベントの申込み者のうち、新規参加者の割合	80	%	生き物観察、カヌー体験、未来づくり教室における新規申込者76.2%を基準として、今後は新規申込者の割合を80%以上とすることを目標とする。
③	—	—	—	
評価タイプ		中間型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	8	8	8	8	8
	②	—	80	80	80	80	80
	③	—					
実績値	①	8					
	②	76.2					
	③	—					

令和5年度	事業計画（予定）	・二宮町の畑、樹園地等での農業体験学習を通じて、農業に関する興味関心を育むとともに、子供が農業について体験しながら学べる機会を作る。 ・広報紙やホームページなどに情報を掲載する。アンケート調査を用いて、内容の見直しや質の向上を図る。				
	事業実績					
	評価	E	0%	達成状況評価		0%
				事業内容評価		0%
		数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	50%
		事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	50%
		Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
		Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
		Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
	課題					
	対応					
	環境審議会意見					
	町の対応					

第3次環境基本計画（前期実施計画）事業評価シート

CD	4-2-3-1-①
担当課	生活環境課
基本目標	あらゆる世代による環境づくりの輪が広がる「にのみや」の実現
取組目標	手を取り合い、大きな輪となって豊かな環境をつかみとろう
取組項目	環境への想いを共有する場の創出

取組の名称（町の取組）	環境への想いをつなぐ場づくりの推進		
取組の内容	各参加者が対話を通して、環境保全にかかわる「気づき」を得ることを目的とした「（仮称）二宮町の環境を考えるワールド・カフェ」を実施することで、環境保全行動に取り組む町民の拡大や行動する者同士をつなげていく場を創出していきます。		
連携・協力先	—	事業の性質	推進

数値指標		最終年度 目標値	単位	目標値根拠
①	二宮町の環境を考える ワールド・カフェの開催 数	1	回	毎年1回以上開催することを目標とする。
②	二宮町の環境を考える ワールド・カフェの申込 み者のうち、新規参加者 の割合	50	%	
③	—	—	—	
評価タイプ		内容重視型		

		令和3年度 (参考値)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	①	—	1	1	1	1	1
	②	—	50	50	50	50	50
	③	—					
実績値	①	1					
	②	—					
	③	—					

令和5年度	事業計画（予定）	・二宮町の環境を考えるワールド・カフェを1回開催する。				
	事業実績					
	評価	E	0%	達成状況評価		0%
				事業内容評価		0%
		数値指標達成率		0%	達成状況評価割合	25%
		事業内容達成率		0%	事業内容評価割合	75%
		Ⅰ.基本理念の達成に貢献しているか？			Ⅳ.事業が費用対効果を考慮しているか？	
		Ⅱ.事業の性質（推進型、促進型等）をとらえているか？			Ⅴ.事業結果を踏まえた改善がなされているか？	
		Ⅲ.事業を成功させるための工夫がなされているか？			○の数	0
	課題					
	対応					
	環境審議会意見					
	町の対応					